

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

平成28年度 徳島県立池田支援学校「学力向上実行プラン」

池田支援学校長

真鍋 朱実



1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭 教頭	真鍋朱実 久米康博 多田郁子
学力向上推進員	教諭(教務課長)	秋田晴代
委員	指導教諭・学部長 教諭(教務課長)	藤本豊春 秋田晴代

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

(高 等 部) 生 徒 の 状 況			
よ	PCやiPadを利用して事前学習や職業調べ等の授業が年7回実施できた。またチェックリストを活用して見いだされた課題解決のための面談も学期に1回以上実施でき、個々の生徒について成果が得られた。	課題 生徒が興味を持って積極的に行えることからICTの活用した授業を継続する。またチェックリストの活用では改善を行いながら更に効果的な支援に結びつく個別面談の取り組みを検討する。	
	具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
	①職業や就労に対する理解を深めるために、情報活用能力の育成を図る。また、自分の課題を理解し、その解決に向けて取り組む。 ②互いを尊重し合える人間関係づくりを推進するとともに、情報端末の適正な活用方法を身に付け良好なコミュニケーション能力の向上を図る。	①ICT機器を活用した授業を年10回以上実施する。生徒との個別面談を年2回以上実施する。 ②「いじめに関するアンケート」を年2回実施する。情報端末に関する講習会を年1回以上実施する。	評価
	具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
	①ICT機器の活用において、個々の生徒の実態に合わせた教材や手立てを考える。生徒の課題解決のために実態に応じてチェックリストの改善も行う。 ②良好な人間関係がとれるよう、生徒同士の関わりを配慮したり落ち着ける環境を整えていく。	①「職業」「作業学習」「自立活動」の授業でICT機器を活用する場面を設定する。またチェックリストを活用し、生徒の課題解決に役立てる。 ②アンケートにより、いじめの早期発見や迅速な対応を図る。	
	* 中間期の見直し		
達成状況を踏まえた改善事項			